

# 戸田市 施策評価シート

作成日	令和 4年 6月22日	作成部局名	市民生活部	担当部局名		
-----	-------------	-------	-------	-------	--	--

## 1. 施策の位置づけ <PLAN>

基本目標	04 安全な暮らしを守るまち	担当課	くらし安心課	
		担当課		
		担当課		
施策	17 防犯体制の強化	関係課		
		関係課		
		関係課		
施策の目的	市民の誰もが安全で安心して暮らせるよう、地域と連携した防犯対策を推進するとともに、防犯体制の強化を図ります。			

## 2. 施策の主な取り組み <DO>

取り組み	犯罪抑止対策事業
取り組み	防犯対策事業
取り組み	防犯灯事業
取り組み	
取り組み	
取り組み	
取り組み	

## 3. 施策の指標における成果 (主な指標) <CHECK>

指標名	指標の説明 (算定式)	単位	目標値	達成値						
				当初値	R3	R4	R5	R6	R7	
犯罪発生率	本市の年間犯罪発生率 (人口千人あたり)	%	7.6	8.6	6.1					
防犯対策が充実していると 感じている割合	充実していると感じている市民の割合 (市民意識調査)	%	27.1	25.3	30.1					
その他施策の取組事項に 係る成果										

## 4. 施策の展開 <ACTION>

課題	<p>令和3年の犯罪発生件数は864件となり、前年比103件減少しており、犯罪発生率は県下でワースト11位から13位へと状況は改善されている。犯罪の種別については、自転車盗が全体の31%と、依然として高い水準で発生しているとともに、特殊詐欺の予兆電話や不審者から児童への声掛け事案が依然として多いことから、これら課題への対策が必要である。また、いいとだメールは、引き続き登録者増加へ向けた周知が必要である。</p>	対応策	<p>市が学区区ごとに設置した見守り防犯カメラや、委託警備員による犯罪多発地区への重点的なパトロールの継続実施により、防犯体制の強化を図っていく。また、特殊詐欺の注意喚起や自転車盗防止のキャンペーンなどの啓発活動や、市内学校と連携して、子どもの防犯意識の醸成を図る活動を実施していく。また、いいとだメールについては、更なる登録者の増加へ向けたPRを行うとともに、犯罪情報、特殊詐欺予兆電話に関する情報を、より迅速に市民へ発信していく。</p>
----	---	-----	---

# 戸田市 施策評価シート

作成日	令和 4年 6月22日	作成部局名	市民生活部	担当部局名		
-----	-------------	-------	-------	-------	--	--

## ○結果と今後の方向性

<b>進捗状況</b> <small>(A 躍進中、B 予定通り、C 遅れ気味)</small>  <b>B</b>	<b>説明</b> <small>(総評)</small>	安全ステーションの設置や防犯パトロール、町会・事業者による自主防犯活動、防犯灯の整備など、犯罪防止へ向けた取り組みは概ね順調に進んでいる。防犯カメラについては、令和2年度に市内全小学校区内の通学路に見守り防犯カメラを300台設置済で、犯罪率の低下など犯罪抑止の効果につながっている。交通安全教室などのイベントにて自転車盗や特殊詐欺防止活動などを行い、防犯意識向上への取り組みを推進している。
---	----------------------------------	---

今後の方向性 (予算)	令和04年度 (事業費総額)	令和05年度	令和06年度	令和07年度
(↑増加、→維持、↓削減)	98,866	↑ 134,393	→ 134,393	→ 134,393

説明 町会が市補助で設置したカメラ98基が、令和4年度末に設置5年の期限を迎えることから、令和5年度より順次市への移管を検討し、見守り防犯カメラの拡充を図っていく。

今後の方向性 (人員)	令和04年度 (人件費総額)	令和05年度	令和06年度	令和07年度
(↑増加、→維持、↓削減)	21,811	↑ 25,619	↑ 27,004	→ 27,004

説明 町会の防犯カメラは各町会で機種が異なるため、移管後の市における管理に煩雑性が出てくるとともに、修繕等も必要となってくることから、管理していく上での人員増は必要になってくると思われる。

### 【企画財政部コメント】

今後、本施策の目的である「市民の誰もが安全で安心して暮らせるための地域と連携した防犯対策の推進・防犯体制の強化」を実現するため、防犯情報の円滑な共有、防犯に係る出前講座の実施による防犯意識の向上、自主防犯活動への継続的な情報提供などによる防犯意識の高揚に資する事業に取り組みつつ、見守り防犯カメラの設置、パトロール活動による犯罪が起こりにくい環境の整備・維持、活動を継続するとともに、指標の達成に向け、既存の事業を充実させるまたは新たな手法を取り入れることなどによる、防犯対策の推進・防犯体制の強化が必要と考える。

## 5. 事務事業の検討 【一般会計】

(単位：千円)

大事業	中事業	事務事業名		事務事業評価の結果										担当部局の評価			
		事業コード	事業内容	事業区分	R5計画額	強 制 化 計 画	総 合 戦 略	事 業 の 方 向 性	実 施 計 画 候 補	評価結果				施 策 内 優 先 度	コ メ ン ト		
										R3決算額	R4予算額	施 策 へ の 貢 献 度	経 費 水 準			事 業 手 法	受 益 ・ 負 担 の 公 平 性
01	防犯対策事業 (くらし安心課)			任意													
	防犯対策事業		12,007														
	01   02   01   23   01   01		12,813		○	○	1	○	B	B	A	A	A				警察や地域と一体となった防犯活動や各種啓発等を継続していく。
	一人ひとりの防犯意識を向上させ、犯罪発生件数を減少させ		11,298														
			13,848														
02	犯罪抑止対策事業		154,875														
	01   02   01   23   01   02		81,029		○	○	2	○	A	A	A	A	A				見守り防犯カメラを、安定稼働させ、町会管理の防犯カメラとの効果的な運用を検討していく。
	市内2カ所の安全ステーションに警察官0Bと委託警備員を		116,556														
			116,528														
			9,001														
03	防犯灯事業		4,918														
	01   02   01   23   01   03		5,024		-	-	1		A	A	A	A	B				継続して維持管理する必要があるが、他事業との統合も含めて検討する。
	市民等の要望等を基にし、防犯上危険と認められる箇所に		5,024														
			2,770														

計 (千円)		事業費	R3決算額	R4計画額	R5予算額
		うち一般財源	171,800	98,866	134,393
			170,257	97,323	132,850